

施策評価（平成28年度）

政策コード	5	政策名	未来を担う教育・人づくり戦略		
施策コード	1	施策名	自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成		
幹事部局	教育庁		担当課	高校教育課	
評価者・実施日	1次評価（教育委員会）		平成28年7月14日	2次評価（企画振興部長）	

1 施策の目的等（政策との関連、必要性、取組内容、取組後の姿 など）

秋田の将来を支え、自らの未来を力強く切り開く、気概に満ちた人材を育成するため、ふるさとを愛する心を基本に据えながら、高い志と社会的・職業的自立に必要な力を育むとともに、産業構造の変化や社会のニーズに適う実践的な知識・技能の習得を図る。

2 施策の状況

(1) 代表指標の状況

●施策目標（評価指標）		基準値	年度	H25	H26	H27	H28	H29	直近の達成率	達成度
		年度								
①	高校生の県内就職率 （公私立、全日制・定時制）	65.9	目標		68.0	70.0	72.0	74.0	92.6%	B
		H24	実績	61.5	66.0	64.8				
	学校基本調査（H27は速報値）	単位：%	達成率		97.1%	92.6%				
②			目標							
			実績							
			達成率							

※達成度の判定基準 A:100%以上 B:80%以上100%未満 C:60%以上80%未満 D:60%未満

(2) 代表指標の分析（推移の状況、実績・達成率の認識、全国順位等）

- ・県内就職率64.8%（学校基本調査） 県内求人数3,684人 有効求人倍率 2.37倍（秋田労働局）
- ・県内就職率は平成26年度比1.2ポイントの減であった。早期求人要請等の成果による早い段階での地元求人の増加や就職支援員による求人開拓などにより、9月段階での県内就職希望者は年々増加しているが、求人状況が好調の際は県外就職が増加する傾向にあることから、目標を下回った。

(3) 関連指標の状況

●施策目標(評価指標)		基準値	年度	H25	H26	H27	H28	H29	直近の達成率	備考
		年度								
①	将来の夢や目標を持っている児童生徒(小6、中3)の割合 ※小6と中3の平均値	86.4	目標		87.0	88.0	89.0	90.0	98.0%	
		H25	実績	86.4	85.9	86.2				
	全国学力・学習状況調査	単位:%	達成率		98.7%	98.0%				
②	高校生(公立)のインターンシップ参加率	59.8	目標		62.0	63.0	64.0	65.0	91.1%	
		H24	実績	58.4	58.5	57.4				
	県・高校教育課調べ	単位:%	達成率		94.4%	91.1%				
③			目標							
			実績							
			達成率							
④			目標							
			実績							
			達成率							
⑤			目標							
			実績							
			達成率							
⑥			目標							
			実績							
			達成率							
⑦			目標							
			実績							
			達成率							

(4) 関連指標の分析(推移の状況、実績・達成率の認識、全国順位等)

①達成率が98.0%と目標達成には至らなかったが、調査開始の平成19年度から27年度の間では、小学校で6.5ポイント、中学校で5.2ポイント上昇している。また、平成27年度については全国比が小学校+5.7ポイント、中学校が+8.5ポイントで全国平均値を大きく上回っている。これは、教育活動全体を通じたキャリア教育の推進によるものである。

②公立高校2学年在籍者のインターンシップ参加率は57.4%で平成26年度比1.1ポイント減となった。実施校は50校(県立全日制42校(分校2校含む)、公立全日制2校、県立定時制6校)で、平成26年度比で2校増加したが、進学校ではボランティア活動に参加する生徒も多く、目標を下回った。なお、定時制課程では全学校でインターンシップを実施している。

(5) 施策の推進状況（施策の方向性ごとに記載）

① ふるさと教育を基盤とし地域等と連携したキャリア教育の充実

●取組① ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の推進

・全県立高校で、キャリアアドバイザーが地域で活躍する企業を紹介する「ふるさと企業紹介事業」を実施した。

●取組② 教育活動全体を通じたキャリア教育の充実

・「学校教育の指針」（秋田県教育委員会）に、ふるさと教育等との関連を図りながら地域に根ざしたキャリア教育を推進していくための重点として、「地域の活性化に貢献する活動」や「体験的な活動の充実」などを掲げ、各小・中学校におけるキャリア教育が一層充実するように啓発を図った。

・「キャリア教育推進協議会」において、県内の学識経験者、企業関係者及び保護者代表等からなる委員により、「地域に根ざしたキャリア教育」を一層推進していくための連携の在り方について協議を行い、現状と今後の方向性を明らかにした。

・キャリアアドバイザー・就職支援員による、各高校のインターンシップ等の体験活動支援を行ったほか、地元外部人材等の活用支援を行った。

●取組③ 一人一人の進路希望に応じたきめ細かな就職支援の実施

・キャリアアドバイザー・就職支援員による就職情報ネットワークを活用した求人情報の共有と就職未決定者等への支援を行った。

② 社会のニーズに応える専門高校等の教育の充実

●取組① 専門高校等の教育内容の充実による地域産業を支える人材の育成

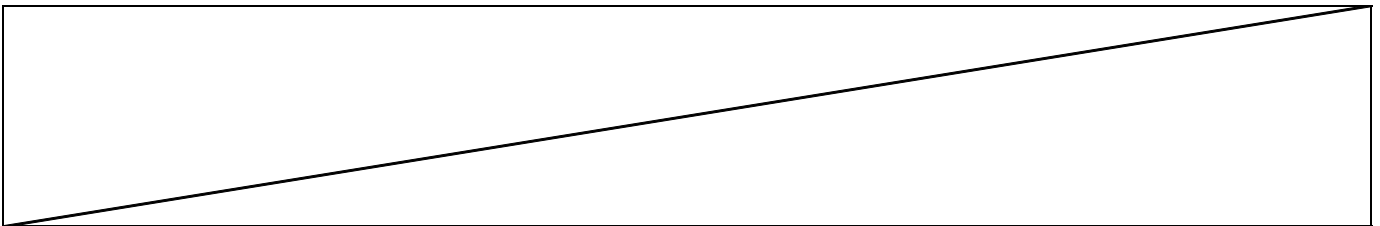
・産業構造の変化に対応するよう教育内容や指導方法の充実を図るとともに、専門高校を中心に産業教育設備の更新等に努めている。

●取組② 地域企業等との連携による地域産業を支える人材の育成

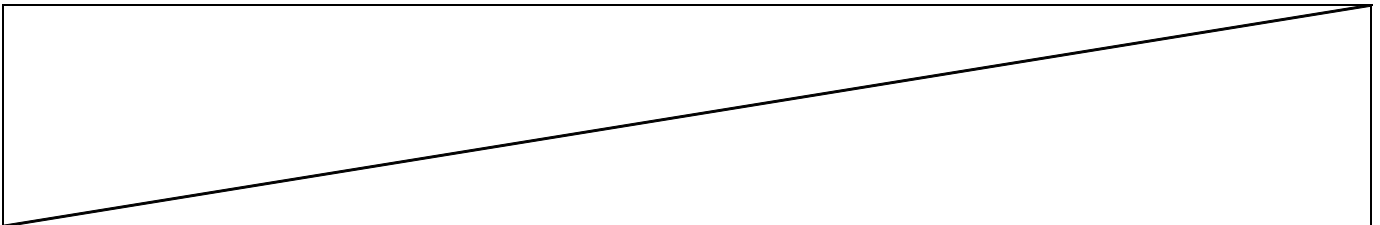
・最新の技術や専門知識を有する大学教員、医師、技能者等の職業人による授業を実施し、学習の深化や職業意識の育成に努めている。

・航空機関連企業や情報関連企業へのインターンシップ実施など、地域企業等との連携を強め、地域産業を支える人材の育成に向けた取組を進めている。

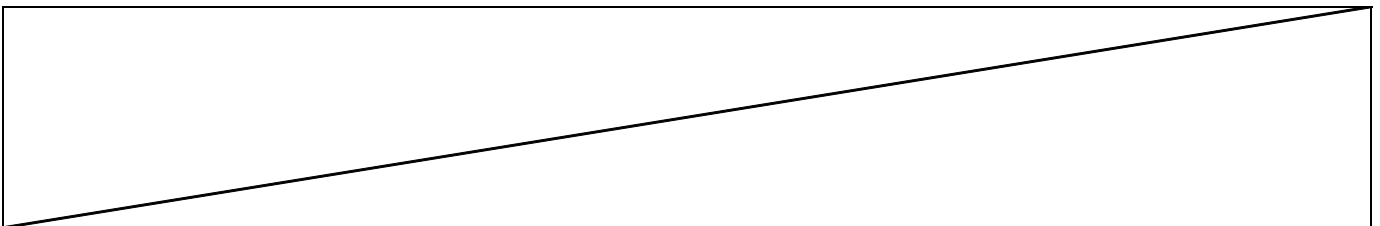
③



④



⑤



3 総合評価

(1) 教育委員会による1次評価

評価結果	概ね順調
評価理由	<p>代表指標については、経済情勢の影響を受けやすく目標を下回ったが、早い段階での地元求人の増加や就職支援員による求人開拓等により、9月段階での県内就職希望者は増加している。関連指標については、目標をわずかに下回ったが、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合は引き続き全国平均を大きく上回っている。また、インターンシップ実施校は増加している。</p> <p>県立高校等にキャリアアドバイザー・就職支援員を配置し、地域の関係機関等との連携に基づくキャリア教育や就職支援の取組が進められているほか、専門高校等の教育の充実のため、地域企業等の専門人材による授業を実施し、学習の深化が図られている。また、航空機・情報関連企業へのインターンシップ実施など、産業構造の転換を意識した人材育成の取組が行われている。</p> <p>以上のことから、本施策の評価は「概ね順調」とする。</p>

(2) 企画振興部長による2次評価

評価結果	概ね順調
評価理由	<p>ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の推進については、小中学校における起業体験等も視野に入れ、「体験的な活動の充実」などにより、ふるさと教育等との関連を図りながら、地域に根ざしたキャリア教育を推進していくとともに、県内全県立高等学校において、キャリアアドバイザーによる「ふるさと企業紹介事業」を各学校の特色に応じて開催したほか、キャリアアドバイザー・就職支援員による就職情報ネットワークを活用した就職支援を行ったこと等により、高校生の県内就職率は平成26年度をやや下回ったものの、9月段階での県内就職希望者は年々増加しており、取組の成果は上がってきている。</p> <p>専門高校等の教育の充実については、航空機関連企業や情報関連産業へのインターンシップ実施など、地域企業等との連携により、地域産業を支える人材の育成に向けた取組を進めている。なお、関連指標であるインターンシップ参加率が伸び悩みを見せていることから、進学希望者へもインターンシップを呼びかける取組を進めており、成果も見えつつある。</p> <p>以上のことから、施策は「概ね順調」と評価される。</p>

4 課題と今後の対応方針

① 課題（施策目標達成に向けた新たな課題、環境変化等により生じた課題 など）

<p>・全ての県立学校での「ふるさと企業紹介事業」の実施や地域企業と連携した様々な活動を通して、地域企業に対する生徒の理解を図っている中、8月末段階での県内求人倍率が24年ぶりに2倍を超えるなど、地域を支える人材の育成への期待がますます高まっている。</p> <p>・航空機・情報関連企業へのインターンシップ実施など、産業構造の転換を意識した人材育成の取組が行われているが、これらの産業を担っていく専門的な技術・技能をもつ人材の育成への期待が高まっている。</p> <p>・各校においては、地域の活性化に貢献する活動として、地元企業等と連携した商品開発の取組、修学旅行等で地域のよさをPRする活動、地域の祭りへの参画、名所での観光ボランティアなど、「地域に根ざしたキャリア教育」が推進されている。今後は、各地域の活性化に貢献する体験活動等の事業を支援するとともに、各校における「地域に根ざしたキャリア教育」の一層の推進を図る必要がある。</p>
--

② 今後の対応方針（重点的・優先的に取り組むべきこと）

<p>・進学希望者のインターンシップ実施や地域で活躍する職業人による授業等を充実させるとともに、キャリアアドバイザーや就職支援員によるきめ細かな進路支援を行うことで、地域を支える人材の育成を図っていく。</p> <p>・航空機・情報関連企業の専門人材から直接指導を受ける機会の確保や地域企業での長期インターンシップの充実等により、専門的な技術・技能をもつ人材の育成を図っていく。</p> <p>・各校で進められている、地域の活性化に貢献する活動等の「地域に根ざしたキャリア教育」の実践の具体や成果を県内外に発信するとともに、市町村教育委員会等で行われている児童生徒が身近な地域の課題に主体的に関わっていく体験活動等の事業を支援することで、「地域に根ざしたキャリア教育」の一層の充実を図っていく。</p>

5 政策評価委員会の意見

--